



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第22回 飛森地区



山形県みどり推進機構の助成を受けて整備した「貝沢ふれあいの丘」。作業写真にはシンボルの薬師山の写る。高規格道路の整備範囲に含まれているため、植樹した桜を移植するかどうか検討中だ。

新庄から金山にぬける上台峠から望む金山三峰。そのひとつ、最も西に位置する薬師山の麓に飛森地区はあります。地区名の由来を調べると、これが実におもしろい。薬師山はもともと東の熊鷹森に対して、西の鷲森と呼ばれるので、いつからか「飛びの森」になったという説が有力のよう。他にも説はありますが、金山町史にも地区名の由来として記載されています。

およそ100名(35戸)が暮らしていますが、年々戸数も人口も減少傾向。その中でも、住みよい活気ある地区を目指して、全員運営で整備などを行っています。その一例を、文化部長の三上寛治さんから伺いました。「数年前までは、冬になると道路がよく水上がりになり、困っていた。今では融雪溝が整備され、長い冬も安心して除雪できる。また、墓地に通じる道路も車で行けるように拡幅したところ、お盆の様子も変わった」と各種整備の成果を語ります。さらに、交流の場となっているのが、整備したグラウンドゴルフ場。年に一度、グラウンドゴルフ大会が開催され、終われば老若男女で焼肉を食べて盛り上がるそうです。

「比較的行事の多い地区だ」と続ける三上さん。春には各組にある花壇への花植え、夏には7つの神社の清掃や祭典、秋には運営方針を考える契約講、冬には元朝の礼やお歳灯など。「今まで通りに運営することが、難しくなってきた。行事の意味や思いを考えて、少しでも長く続けていくことが、先輩方が守ってきた地区の伝統を引き継ぐことになる」。三上さんは、活気ある地区のためにできることを力強く語ってくれました。

金山町の人口は、5,417人 (11月末現在)

男性	2,640人 (-2)
女性	2,777人 (-7)
世帯数	1,755世帯

▼11月の異動

出生	1人
死亡	6人
転入	5人
転出	9人

編集 幸記

▼新年あけましておめでとうございます。皆様どのようなお正月を過ごされましたか？

▼今年は何といても東京オリンピック・パラリンピック。個人的に楽しみなのは、陸上競技です。男子4×100mリレーでの金メダルを期待します。ところで、金山でチケットを入手した方なんているのでしょうか？もしいらっしやいましたら、広報でのルポも面白いかもしれません！

▼2020年は子年。今年はいよいよ一層チューモクされる広報紙を目指します。(つづ)